

2021年6月29日
株式会社スマートドライブ
パナソニック株式会社

スマートドライブとパナソニックが ETC2.0 システムを活用した 運行管理サービス実現のための共同実証を開始

株式会社スマートドライブとパナソニック株式会社は、2021年6月16日、共同実証契約を締結し、物流車両を利用する企業向けに ETC2.0 システムを活用した運行管理サービスを提供することを目指し、共同実証を開始しました。主に物流業界における業務効率化に向けた実証サービスの提供を 2021 年内に開始する予定です。

【共同実証の概要】

(1) 背景

インターネット通販市場の成長に加えて、新型コロナウイルスの感染対策による巣ごもり需要急増によって貨物量が急激に増加する一方、物流業界では高齢化などに起因するドライバー不足が年々深刻化しています。ドライバーへの負担が増加する中、長時間労働是正に向けて、2024年4月には労働基準法の年間残業時間規制の導入が予定されるなど、物流業界における業務の効率化は喫緊の課題となっています。

(2) 目的

ETC2.0 システムは、2015 年から導入が始まり、これまでに約 648 万台^{※1}の車載器が搭載されています。料金収受に特化した従来の ETC を進化させたシステムで、車載器が持っている特有の情報が全国の高速道路等に設置された ITS スポットを經由して収集されます。今回の共同実証では、ETC2.0 システムを活用した運行管理サービスを試験的に提供し、技術や事業面での検証を実施。高価なデバイスを新たに購入することなく利用可能な運行管理サービスを実現し、中小規模の物流業者でもコストを抑えた物流車両の運行管理を可能とすることで、物流業界全体の業務効率化の後押しを目指します。



ETC2.0 システムを活用したサービスのイメージ図

(3) 実施内容

スマートドライブの多種多様な業種業態におけるモビリティデータを利活用したサービス「Mobility Data Platform」などで培った知見と、パナソニックのハードウェア開発と ETC2.0 データ活用に関する知見を掛けあわせ、使いやすい UI、活用しやすい UX をベースとした運行管理サービスを開発し、主に物流業界に向けて 2021 年内の実証サービスの提供を目指します。

スマートドライブは、2013 年の創業以来「移動の進化を後押しする」をビジョンとして、移動にまつわる様々なモビリティサービスを提供しています。法人向けクラウド車両管理サービス「SmartDrive Fleet」や、スマートドライブ独自のデバイスに限らず、様々なデバイスから収集したモビリティデータを利活用できる「Mobility Data Platform」は幅広い業種業態のお客さまの課題解決や新しいサービスの創出などに役立てられています。

パナソニックは、GPS 搭載の事業用 ETC2.0 車載器を発売、ITS スポットの設置、保守事業も推進するなど、業界をリードしてきました。今回の共同実証で得た知見を活かして、今後、取得したデータを安全対策や交通インフラの管理に役立てることのできる社会インフラを構築し、住民や地域の事業者、行政と相互にデータを活用することで、より良い社会への貢献を目指します。

※1 2021 年 5 月末時点。ETC 総合情報ポータルサイトより。

以上

【関連情報】

ETC 総合情報ポータルサイト

<https://www.go-etc.jp/>

株式会社スマートドライブ

<https://smartdrive.co.jp/>

パナソニック モビリティソリューションズ

<https://www.panasonic.com/global/business/mobility/ja.html>